



様式1(主な取組)

活動指標名	指定校数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	1校	1校	1校	1校	1校	1校	100.0%	705	順調	R元(H31)年度から2年間、北山高校を環境教育推進校に指定しており、「ESDの視点を取り入れた環境教育の実践(沖縄本島北部の豊かな自然環境を保全するために)」をテーマに研究を行っている。本取組において、先進校視察や課題研究、成果報告などを実施した際には、指導助言など支援を行った。
活動指標名					R2年度					
実績値										
活動指標名					R2年度					
実績値										
活動指標名					R2年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄本島北部にある北山高校ならではの、特色を生かした研究実践が行えるよう支援する。</li> <li>・生徒の研究発表の場を増やせるよう、県内外における発表会などの情報を提供していく。</li> <li>・研究主任に負担が集中しないよう、他の研究事例を参考に情報を提供していく。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄本島北部にある自然を活かした取組や理数科における課題研究だけでなく学校行事や各教科の授業の中に環境教育の視点を取り入れて取り組んだ。</li> <li>・情報提供に努めたが、コロナ禍において生徒の発表の場が減少している。</li> <li>・指導助言することで、研究主任だけでなく学校全体の取組として環境教育に関わることができた。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### 内部要因

・北山高校の研究指定としての取組はR2年度で終了し、R3～4年度は、辺土名高校を環境教育推進校として、研究指定に指定する。

##### 外部環境の変化

・近年、環境問題やSDGsの取組への関心が高まっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・R1～R2年度の研究指定校である北山高校の成果を、より多くの学校へ情報提供を行う。
- ・R3年度から「SDGs(ESD)の視点で検証する本校環境教育の取組」をテーマに取り組む辺土名高校に対して、指導助言を行う必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・R1～R2年度の研究指定校である北山高校の成果を、より多くの学校へ情報提供を行う。
- ・R3年度からの研究指定校である辺土名高校に対して、計画が順調に取り組めるよう指導助言を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-才	県民参画と環境教育の推進	施策	環境保全に向けた県民参画の推進と環境教育の充実
			施策の小項目名	
主な取組	環境学習指導者講座			
対応する主な課題	県民一人ひとりが環境保全の重要性など環境問題に対する意識の向上を図っていくためには、幼い頃からその重要性を学ぶことができる環境整備が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
県立総合教育センターでの短期研修講座として、小・中・高・特別支援学校の教員を対象に、環境学習の概論の把握や授業で使える簡易な環境調査等を通して、環境学習に必要なスキルを養い、講義等を通して、課題解決の手法を模索し、指導スキルの向上を図る。		1講座				
実施主体 県		県立総合教育センター短期研修講座の実施				
担当部課【連絡先】 教育庁県立学校教育課 【098-866-2715】						

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 県立学校指導事業費							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	直接実施	253	250	279	279	279	279	県単等	R2年度： 小・中・高・特支の教員を対象に、環境教育についての研修講座を実施、環境教育への関心と理解を深め実践的な指導力の向上が図られた。 R3年度： 県立総合教育センター短期研修の講座として、小・中・高・特支の教員を対象に、環境教育についての研修講座を夏期休業期間に計画。
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									R2年度： R3年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	研修講座数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	1 講座	1 講座	2 講座	2 講座	1 講座	1 講座	100.0%	279	順調	県立総合教育センター短期研修講座の一つとして、小・中・高・特支の教員を対象に、環境学習に関する講義、講演、実践事例発表等を7月末に実施した。
活動指標名					R2年度					
実績値										
活動指標名					R2年度					
実績値										
活動指標名					R2年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県立総合教育センターが実施する短期研修講座について、研究内容の充実や他講座との日程を調整するなど、講座を受けやすい実施日や日程にすることにより参加人数を増やす改善を行う。</li> <li>・研修講座のテーマをより実践的にするなど、参加後のアンケートを参考に改善していく。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県立総合教育センターが実施する短期研修講座において、新型コロナウイルス感染拡大の影響で学校の夏期休業期間が短縮になったことで平日実施となり、参加人数は少なかった。</li> <li>・研修内容として、授業で実践しやすい内容にしたところ、参加者に好評であった。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因	外部環境の変化
・沖縄県立総合教育センターが実施する短期研修講座について、参加したいが学校の日程上参加できないという意見があった。	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、夏期休業期間が短縮になったため、平日開催となった。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・研修講座への参加拡大の取り組みが必要である。
-------------------------

### 4 取組の改善案 (Action)

・沖縄県立総合教育センターが実施する短期研修講座について、教員が講座を受けやすい日程を検討する必要がある。
---